

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム福寿荘
(ユニット名)	第2ユニット
所在地 (県・市町村名)	新潟県魚沼市与五郎新田13-7
記入者名 (管理者)	磯部 清
記入日	平成 21年 6月 5日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<input type="checkbox"/> 1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
<input type="checkbox"/> 2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	理念の大切さを意識し、月例カンファレンス時理念の確認、認識を行う。
<input type="checkbox"/> 3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	○	ホーム便りで交流の様子など伝えている。
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> 4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	散歩時などに気軽に声かけしている。
<input type="checkbox"/> 5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	地域の祭り、自分たちの行事に声かけをして交流していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>研修、会合に出かけ、活かす努力をしており、要望があった時には研修生を受け入れている。</p>	○	<p>気軽にお茶飲みに来られる場所にして行きたい。散歩時ゴミ拾いを行っている。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>自己評価に全員で取り組み、外部評価の結果は改善にむけ話し合っている。</p>	○	<p>質の確保に向け、カンファレンス等で話し合っている事故、ヒヤリハット等発生時、話し合いを持ちレベルアップ、スキルアップに努めている。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>2ヶ月に1回の運営会議には家族、地域の方の出席を願い、意見、要望を受け検討している。</p>	○	<p>他事業所のやり方、サービス内容も聞き、サービス向上に役立てたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>ケア会議、運営委員会など積極的に出席し他事業所との交流を大事にしている。</p>	○	<p>市の担当者とは連絡をとりあうなど、各方面からの意見を参考にしている。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>不勉強な点が多い、研修などに参加して行きたい。</p>	○	<p>勉強会などを開き今後取り組んで行きたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> <p>不勉強な点は多いが細心の注意を払い防止に努めている。</p>	○	<p>勉強会などを開き今後取り組んで行きたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明と文章で対応し理解していただいている。利用者の生活状況をその都度説明し、家族の理解を得ている。	○	利用者に何かあった時にはその都度電話で話している。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	何でも言ってもらえる様な雰囲気作りをし、面会時などには積極的にお話をさせていただいている。普段の生活の話の中から利用者の気持ちを理解するよう努めている。	○	運営会議時などで意見を聞く機会を設けている。生活の中で利用者の意見を聞くようにしたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的出している便りの中に、個々の近況を報告している。	○	健康状態など電話で近況を報告している。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に運営会議を開き家族の意見、利用者の状況を外部に話す機会を作り反映させている。	○	面会に来られた時など話しを聞いている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスを月に一度行って、意見提案を聞く機会を必ず設けている。	○	委員を配置し、いつでも管理者へ意見提案をいえるようにしたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状態に合わせて、ローテーションの他にある程度自由に動ける体制をとっている。	○	日誌、連絡帳により柔軟に対応している。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の混乱を避けるため、極力異動は避けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホームでは出来ないが、外部から研修の案内を貰った時には参加している。	○ 研修を受けた職員は、資料などを全職員に回覧している。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケア会議などに出席し事例検討会を通して向上させているが、ホーム全体としてはほとんど無い。	○ 自主的に他施設に見学に行っている。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員親睦会を行い、気分転換を図れる機会を持っている。	○ ローテーションにより全員参加はむずかしいが旅行を計画していきたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	講習会参加などの呼びかけ、資格取得に向けた支援を行っている。	○ 他施設への研修など積極的に取り組んでいきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	何でも話が出来る状況につとめ、話しかけられた時に話しをじっくり聴く。	○ 利用者が不安な時は話しを聴き、不安を和らげるようにしている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の求めているものを理解し、信頼関係をつくるよう努力している	○ 家族が面会に来た時など話をする機会を作り、メールも活用している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> <p>本人、家族との話し合いを大事にし、最良の方法を見つけサービスしている。</p>	○	相談にはその都度受け入れ、話し合いの機会を持っている。
26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> <p>本人、家族に事前にホームを見学していただき本人が雰囲気に慣れるまで様子を見たり、馴染めるよう支援している。</p>	○	希望、入居状況に応じ受け入れている。
27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> <p>人生の先輩である気持ちを忘れず協力し合いながら穏やかな関係を築いている。</p>	○	野菜作りの仕方や山菜など処理、調理など詳しく教えていただく事が多く、参考にさせていただいている。
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p> <p>面会時やメール、電話などで様子を伝え、共によりよい関係を目指している。</p>	○	連絡を取り合い関係を蜜にして行きたい。
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p> <p>定期的におたよりを発行し様子を伝え、月例行事等への参加をお願いするなど、よりよい関係作りに努めている。</p>	○	面会時、生活の様子、体調などくわしくお伝えしている。
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> <p>兄弟、友人、知り合いなど気軽に面会に来られている、希望により墓参りにも行かれている。</p>	○	利用者の家族、兄弟の音楽ボランティアなど積極的にお願している。
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係をすべての職員が解る様にしており、気の合う利用者同士、話し相手を見つけ楽しく過ごせるよう働きかけている</p> <p>利用者同士の関係をすべての職員が解る様にしており、気の合う利用者同士、話し相手を見つけ楽しく過ごせるよう働きかけている</p>	○	一人ひとりの話を聞いて利用者同士の調整役になるようにしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後の付き合いはほとんど出来ていない。	○	行事の時など声かけをしていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりと声かけ、本人の言葉や表情などから希望に沿った暮らしを検討している。	○	本人の話が難解でも否定せず傾聴し、利用者の希望に添えるよう努めている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面会時や、本人の言葉により把握できるように努めている。	○	把握出来ない事もあり、見落とさないようにしたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員同士が情報を共有し一日の過ごし方を把握するようにしてる。	○	一人一人のリズムを大切に、出来る事を見つけ参加していただいている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の考えを把握しカンファレンスで協議し介護計画を立てている。	○	職員全員で意見交換をしている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	三ヶ月ごとに見直しを行い、利用者に変化が見られるときはその都度協議している。	○	本人や家族の希望を聴き見直しを行っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	具体的な言葉や気づいた事など記録し、特記事項など申し送り時に活用、情報共有に役立っている。	○	どのようにしたら解りやすい記録が出来るか記録様式の検討を常時している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況に応じて通院の送迎などを行い柔軟に対応している。	○	本人の要望を家族と相談しながら実施している。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署の協力を得た防火対策や避難訓練を実施しており、近隣のグループホームなどとの交流を活かし支援している。	○	ボランティアへの声かけ、協力を呼びかけて行きたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域ケア会議などに出席して情報交換をしている。	○	他のサービス事業所ではないが地域の薬剤師には協力、支援をしてもらっている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	入所判定会議にはきてもらい意見をいただいて、必要に応じ連絡を取り合い活動している。	○	一人暮らしの方などの細かい点等は権利擁護の方に相談している。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々のかかりつけ医がおり、適切な受診と医療のための受診票を活用している。	○	家族が同行できない時は職員が同行し、日常の状態などを説明している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	日によって状態が変化するので見逃さないように注意をはらって行きたい。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	いつでも相談できる看護職と連携をとって行きたい。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	出来る限り面会に行き、身の回りの事や病状等把握し、元気づけたいと思う。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	家族、医師、看護師を交えて話し合いを行っている。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	本人、家族の意見を聞き、身体及び精神的ケアをどうしたら良いか話し合っていきたい。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	本人が混乱しないようにわかりやすく説明を行いたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	何気ない声かけや対応で配慮している。本人を傷つけてしまわないような対応に注意している。	○ プライバシーの徹底。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望にあわせて支援しているが意思表示が困難な方もおられる。	○ 十分な時間を持ち支援していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物、散歩など希望にそって支援、ホーム内では自由にその人らしくしてもらっている。	○ 朝食は各人に合わせて摂ってもらっている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	基本的には本人にまかせており、かかりつけの理、美容院に送迎している。	○ 定期的にチェックをし、本人に声かけをしている。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえ等の準備をお願いし、刻み食にするなどの工夫をしている。	○ 義歯の方が多く、各人の食べるスピードにも気をつけている。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お茶、コーヒー等お好きな飲み物をいつでも飲めるよう準備してある。10時、15時にはそろってお茶を飲んでいる。	○ 本人との話し合いの中で、昔からの嗜好品を探り、食事、おやつなどで引き続き支援していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	必要な人だけリハパン、パットを使用し、出来る限りトイレ誘導をしている。	○	失敗等があった時は、落ち込まないよう優しく声かけをしている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	声かけで希望者に合わせている。ほとんど毎日入浴できている。	○	午前、午後と希望者にあわせてほとんど毎日入浴している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	自室では自由に休息をとっていただき気持ちよく眠れるベッドを整えている。	○	日中は出来るだけ体を動かしていただき、午睡もあまり長くないよう、声かけをして夜間安眠できるよう支援している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみ、散歩、日光浴などを楽しみ、気晴らしの支援をしている。	○	読書好きな人、仕事をしたい人とおり、各人新聞をとったり、掃除も毎日していただいている。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持している人が多く希望により買い物に行ったりしている。	○	お金を所持している人には、自己管理とは別の出納帳をつけて家族に報告している。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は声かけをし散歩や日光浴に出かけ、畑の草取りなどもしている。	○	四季に応じた行事を行い、他グループホームとの交流会を持ち楽しんでいる。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月例行事でレストランに食事会に行ったり、花見、ドライブと出かける楽しみを支援している	○	食事会行事など、家族に声をかけ一緒に行動している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、いつでも電話は使用できる、居室で使用することもある。手紙等必要に応じ代行している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問していただいている。自室、和室、ホール等希望により談話していただいている。	○	ホールや居室にて自由に過ごしていただいている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵も使用する事なく、利用者は自由に出入りしている。	○	入居者がだまってそとに出て行くようなときには、しばらく後をついていくようにしている。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者と同じ空間でさりげなく作業し見守りしている。夜間は全居室が見えるところで作業や休憩をすることになっている。	○	食事作りをしながらの見守り、フロアでの見守りと対応している。夜間は定時に見回り、安全に配慮している。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	必要に応じ職員の目の届く所で使用していただいている。	○	出来る限り利用者の意志を尊重声かけにて、使用していただいている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	充分な見守り、事故防止に取り組む。ヒヤリハットを記録し職員の共有認識を図っている。月1回のカンファレンスや日々の職員間の声かけにより、利用者一人一人の状態を把握している。	○	他施設との交流をはかり、より良い取り組みをしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命講習を受け、マニュアルも整備している。	○	定期的に講習に行きたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、利用者と共に避難訓練を行っており、通報、消火機器の操作訓練なども行っている。	○	消防署の協力を得て避難訓練を実施しており災害時には近くの職員から順次駆けつける体制をとっている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ヒヤリハットを記入し、家族にも説明し話し合いを持っている。	○	家族の面会時や、必要と思われる時に家族に状態説明し、話し合いを持っている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタル測定、食事量等、健康状態に気をつけ記録、連絡を共有している。	○	異変時は速やかに家族に連絡し受診している。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用時に本人に手渡し、きちんと服用されたか確認している。状態変化がみられるときは、すぐに病院に連絡をとっている、又各入居者の薬をファイルしており、いつでも確認できるようにしてある。	○	薬に変化があった場合は、連絡ノートに記録し、全職員共有している。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	ヨーグルト、水分摂取、野菜などを多くとり、毎日体操を行い、予防に心がけている。	○	食事の工夫や散歩等で自然排便できるように引き続き取り組んでいきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	義歯の洗浄、食後の歯磨きの声かけを行っている	○	利用者の力に応じ、声かけ、見守りをしたり全介助により清潔保持に努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分確保に気をつけ、希望者には夜間もペットボトルに入れて届けており、バランスの良い食事に気をつけている。食事での栄養摂取が困難な方には家族の同意を得て補助食品を使わせて頂いている。	○	カロリー計算をしていないため、今後の課題となる。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	うがい、手洗の実行など、マニュアルにそった対応を実施している。	○	来訪者にも協力してもらい、手洗、うがいを実施している。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	その日に使用する物をその都度配達してもらい、調理器具、食器など熱消毒を行っている。	○	衛生管理マニュアルがあり実施されている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に長椅子を置き、腰掛けて靴の履き替えが出来る。季節の花を飾るなど季節感を演出している。	○	歩行器や車椅子がスムーズに通れるように玄関の上りかまちにスロープをつけたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホール食堂と台所が一体となっており、家庭的な雰囲気でも過ごせる。	○	入居者同士ベランダで日向ぼっこし、談笑されている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事、お茶の時など自然にグループができ、談話を楽しまれている。	○	ベランダに花、野菜のプランターを置き出来具合など楽しんでいる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> <p>利用者の馴染みの物で居心地のよさに配慮している。</p>	○	<p>使いなれたダンス、椅子など持って来て使っていただいている。その他、家具の配置など、利用者の危険のない様配置を工夫している。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p> <p>温度調節はこまめに行い、利用者の発汗、冷えなどに注意している。</p>	○	<p>消臭剤など利用して悪臭が出ないように気をつけている。天気の良い日はなるべく窓を開けるようにし、空気の入れ替えを行っている。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> <p>手すり歩行器の移動など、その人にあつた工夫、安全を考えた配置などに心がけている。</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p> <p>名札、案内板等を設置し、トイレの案内表示もわかりやすく工夫している。</p>	○	<p>状態が変わり、混乱してきた時などはその都度話し合いをもっている。 排尿、排便を1人で行う事の難しい入居者には、目の届く限り付き添っている。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p> <p>花壇づくり畑作り、ベランダでの日向ぼっこなど工夫して、楽しんでもらっている。</p>		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/> ②数日に1回程度
		<input checked="" type="checkbox"/> ③たまに
		<input type="checkbox"/> ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている
		<input type="checkbox"/> ②少しずつ増えている
		<input checked="" type="checkbox"/> ③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/> ②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/> ②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な雰囲気大切に、その人にとって安全、安心、快適に努め、日々の暮らしの中で、一人一人の心身の能力を発揮出来る様配慮している。

認知度の進行に伴い、随時モニタリングを行い利用者にあったケアに積極的に取り組んでいる。